

最上川に架設されし東北の新橋

村山橋の架設工事成る

道路改良會幹事 都筑 通督

所在 山形縣東村山郡藏增村、境跨
西村山郡西根村

路線名 天童寒河江線

工事費 四十九萬七千六百八十八圓四十錢

記要 日本三急流として奔湍激流に名ある最上川は、東に奥羽連山、西に出羽巖峯併走し、風雨の到る毎に逸水汎濫、堤防を缺潰し橋梁を崩壊すること屢々なり、村山橋また比年幾度か害を蒙り、人畜に死傷を及ぼしたる例あり、依て知事 篠原英太郎氏は此の害を救ふべく企劃し、昭和四年三月内務部長坪井勲吉、土木課長兒玉靜雄の兩氏と諮り縣會の協賛を経て本橋架換工事に着手したり。

府縣道 天童寒河江線村山橋(最上川)改築工事概要
橋長 二百五十三間三分

幅員 有效三間 有效面 $28,852.2 \div 801.4$ 坪

徑間長 百八十七呎 8連 地質 砂利層
(幾分の泥土層あり)

構造

上部 ワーレン式鋼橋8格點30呎高
橋臺 鐵筋混凝土基礎25呎井筒、橋臺50.5呎
高欄 瓦斯管及鑄鐵
上部工は鋼材にしてワーレントラストタイプとし一連の心々の距離は百八十七呎、橋脚の心々は百九十呎トラスの高さは三十呎、格點間は二十三呎八分ノ三で設計は道路構造令による府縣道路橋の荷重を基準とせり、床版は厚六吋の鐵筋混凝土とし其上層に一時二分の金剛アスファルトブロックを張り縱勾配二百分の一横百分の一拋物曲線狀に施工してある。

主要材料其他

セメント	橋7,494樽	道路612樽
鐵筋	橋 276噸	道路工1噸
鋼材	上部 915噸	井筒杵及鐵36噸
塗料	408罐	



第1圖 村山橋附近の平面略圖

石材 15切

橋臺は東西構造を同ふし長二十五呎、横七呎、縦十七呎、厚さ二呎の鐵筋混凝土構矩形井筒を基礎とし其の上に三十呎二分の一の橋臺を据付け、根入は左岸三十一呎、右岸三十五呎なれば河身の移動及耐震等をも考慮して設計せるが如し。

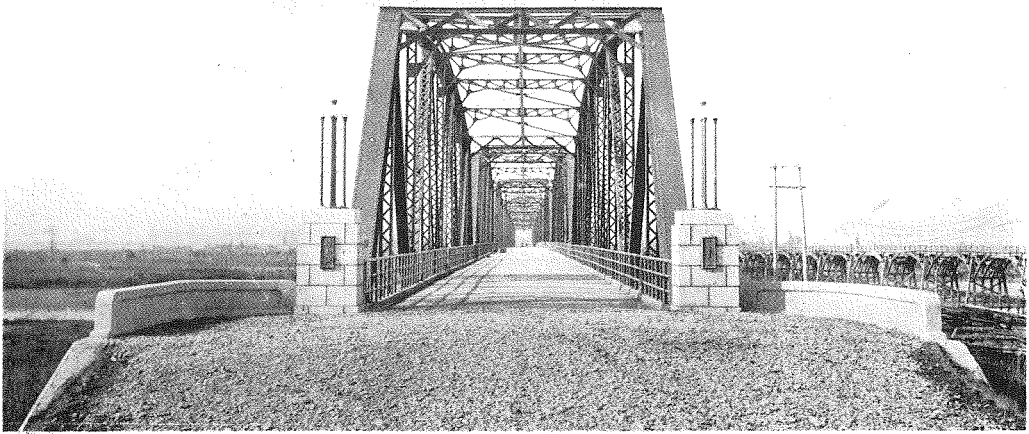
橋脚は總數七本にして深さ四十呎及三十五呎の基礎井筒二種、其の上に貳拾五呎の橋脚を建て全長六十五呎と六十呎とし、根入最淺三十五呎最深五十餘呎に達せり、井筒の厚は一呎九吋底面積五百四十平方呎楕圓筒形である。

工費其他

總工費	四十九萬七千六百八十八圓四十錢
下部工	十七萬八千八百八十七圓
上部工	二十五萬八千四百四十七圓
セメント	四萬四千六百二十一圓
取付道	一萬七千七圓
セメント	二千九百四十八圓
敷地費 補償費 及雜費	四千七十八圓四十錢
作業人員	二萬二千九百五人
内: 上部工	六千四十三人
下部工	一萬六千八百六十二人

作業日數 二百八十日

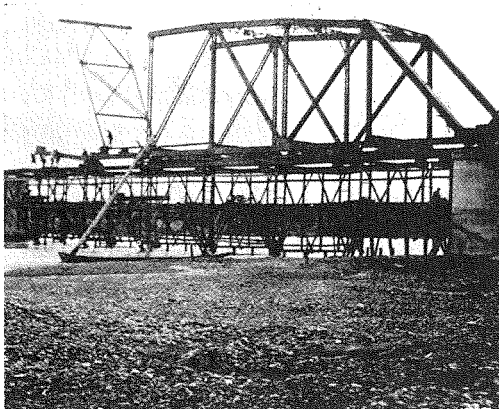
關係者	知事 窪田治輔氏	内務部長 川村貞四郎氏
土木課長	兒玉靜雄氏	設計者 千葉利智氏
工事監督	下島經周氏	請負者 矢野彌次郎氏
請負者	櫻田壬午郎氏	竣工昭和四年十二月十日



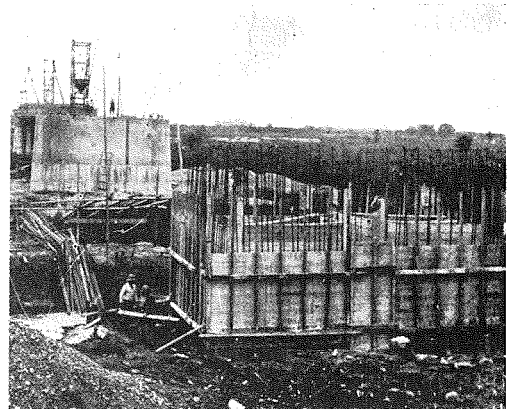
第 2 圖 村山橋正面景



第 3 圖 村山橋全景



第 4 圖 村山橋架桁工事中



第 5 圖 村山橋橋脚工事中景